

### 第三者評価結果

事業所名：明日葉保育園 元住吉園

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画は、児童憲章・児童の権利に関する条約・児童福祉法・保育所保育指針の趣旨を捉えて作成しています。計画の基本は本部が作成しており、職員は、年度末の職員会議、クラス会議で見直しをおこない作成に参画しています。園では、保育所保育指針を事務所に設置し、いつでも確認できるようにして、全体的な計画の理解を深めています。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育室では、温湿度計を設置して過ごしやすい環境づくりに努め、清掃を毎日おこない、清潔に保っています。玩具や棚の配置は子どもの導線や安全面に配慮をおこない、乳児室では、やわらかいマットを敷き落ち着けるスペースを設けています。食事・睡眠の場所は分けており、ひるね時は子どもが安心して眠れるように保育者が側につき、見守っています。手洗い場、トイレは明るく清潔に保ち、子どもが使いやすいようにトイレ内にマットを敷き、履物を戻す用の足形を床に貼るなどの工夫をおこなっています。</p>	
<p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園面談時に、子どもの発達状況や家庭環境を聞き取り児童表に記録、把握し必要な支援につなげています。子どもが安心して気持ちを表現できるように寄り添い、声掛けや声のトーン、伝え方に配慮をおこなっています。また、子どもの仕草、表情から気持ちを汲み取り、急かさず待つ姿勢を心がけ、状況によって代替案を提示し、子どもが納得いくまで、根気よく付き合っています。子どもにかけ言葉は、発達に合わせて理解できる声掛けをしています。また、制御する言葉を不用意に用いないように時間にゆとりをもつことを心がけています。</p>	
<p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもが基本的な生活習慣を身につけるために、発達に合わせて子どもの意欲や達成感につながる援助を心がけ、見守る保育に取り組んでいます。保護者とは、生活リズム・睡眠・食事などの情報を共有し、状況によっては、家庭でも生活習慣を身につけるように提案し連携を図っています。職員は、それぞれの専門職をいかして、身体のしくみ、食事の取り方、排泄、着脱などを子どもに分かりやすく伝え、健康指導のポスターを掲示するなど、興味・関心が持てる環境の整備をおこなっています。</p>	
<p>A-1-(2)-④</p> <p>【A5】 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもが、主体的に遊びを選択できる環境づくりに注力しています。戸外活動では、発達に合わせて公園を設定し、自然に触れる機会を設け、子どもと一緒に散歩マップを作成するなど、戸外活動の充実を図っています。また、1日の活動は子どもたちの意見を取り入れ、主体的な活動になるように働きかけています。5歳児は、「あしたばドア」にインターネットで参加し、外国の子どもたちと交流を図る機会を設けています。また、年度末に近隣の保育園と一緒に移動水族館見学の企画を立てるなど、さまざまな社会体験の場を提供しています。</p>	

<p>A-1-(2)-⑤ 【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 保育者は、こどもの成長に合わせた個別指導案の作成をおこなっています。こども一人ひとりとスキンシップを図り、こどもが発する動きや表情に、丁寧に応え愛着関係を築けるように努めています。0歳児の保育室は、こどもが玩具を自由に取れる配置や、遊びをコーナーで分け、成長に合わせて探索意欲を満たす環境構成に取り組んでいます。また、安全点検をおこない玩具の消毒など、衛生面にも配慮をおこなっています。こどもが心身共に安定した生活が過ごせるように、保護者と連絡アプリを活用して、連携を図っています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑥ 【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 保育者は、こども一人の発達や興味・関心に合わせ、こども自ら遊びを選択する環境を整えています。遊びの中で、こどもの思いを受け止めながら、その場に応じた声掛けをしています。また、こども同士の関わりを見守りながら必要に応じて仲立ちをおこなっています。園は、活動に異年齢児と関わる機会を設けています。幼児クラスと連携して、戸外で一緒に遊ぶなどの異年齢交流を図っています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑦ 【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 3歳以上児の保育では、友だちや保育者との関わりの中で、成長ができる活動を保育目標にしています。日々の保育活動に加え、成長を披露する生活発表会では、5歳児がこども自身で考えた創作劇、4歳児が好きな絵本を取り入れた劇を披露しました。保育者は、こどもの思いを受け止め、さまざまな提案をおこない、こどもが主体となって活動する場を設けています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑧ 【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 特別な配慮を必要とするこどもには、個別指導計画をもとに保育をおこなっています。職員は、障がい児研修で理解を深め、会議や園内研修で周知を図っています。また、療育センターと情報共有をおこない、適切な支援がおこなえるように努めています。保護者へは、入園のしおりで障害児保育について周知をしています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑨ 【A10】 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 保育者は、こどもの一日の生活の流れを考慮した活動計画を立てています。こどもの姿を観察するなかで、安心して過ごせるように、状況に応じて、活動を変更するなど柔軟な対応をおこなっています。朝・夕の異年齢児との合同保育では、年齢毎の生活リズムの違いを把握し、発達に適した環境への配慮に努めています。延長保育時間には、必要に応じて夕食の対応もおこなっています。こどもの一日の様子は、引継ぎ表を活用して職員間で共有をおこない保護者に伝えています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑩ 【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 全体的な計画の中に小学1年生との交流があり、5歳児は、1年生と交流し、ランドセルの中身を見たり、パソコンに触れたりすることで、小学校に興味を持てるように小学校訪問体験をしています。保護者とは、懇談会で就学に向けた取り組みを説明し共有を図り、送迎時や面談などで情報提供をしています。園長と5歳児担任は、幼保小連絡会に参加して情報共有や、小学校に訪問し意見交換をおこなっています。保育所児童保育要録は、5歳児担任が作成し園長が確認の上、小学校に提出しています。</p>	

A-1-(3) 健康管理	第三者評価結果
【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<コメント>	
園は、区と法人の健康マニュアルをもとに、保健日誌を作成しており、こども一人ひとりの健康管理に努めています。こどもの体調変化・怪我があった場合はお迎え時に保護者へ伝えていますが、状況に応じて電話連絡をすることもあります。健康に関する計画は、看護師が作成し、適宜指導もおこなっています。職員は、昼礼、日誌にてこどもの健康に関する情報の周知・共有に努めています。保護者には、こどもの感染状況や登園目安を伝え、こどもの健康管理への共有を図っています。	
【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<コメント>	
健康診断は、0・1歳児は年6回、2歳児以上は年3回、歯科健診は年2回おこなっています。結果は、アプリに記録しており、職員間で周知・共有を図っています。健康に関する保健計画を作成し、手洗い・うがい・歯みがき・プライベートゾーンなどの保健指導に取り組んでいます。保護者とは、診断結果を共有し、こどもの健康状態に合ったアドバイスや情報提供をおこなっています。	
【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<コメント>	
「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、こどもの状況に応じて安全な対応をおこなっています。入園時に園長・栄養士同席のもと面談をおこない、医師による生活管理指導表を提出してもらいます。更新の際には、面談をおこない職員間で周知・共有を図っています。また、誤食・誤飲を防ぐために専用の食器・トレイで提供しています。配膳時には、アレルギー専用のエプロンを着用、調理員と担任のダブルチェックをおこない安全に努めています。職員は、アレルギー疾患・慢性疾患などの研修に参加し、会議などで周知・共有を図っています。	
A-1-(4) 食事	第三者評価結果
【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<コメント>	
栄養士と保育者が連携して食育計画を立て、食育活動に取り組んでいます。保育者は、食事の場所、遊ぶ場所と分けて落ち着いて食べられる環境をつくり、楽しい雰囲気ですることができるように声掛けをおこない、こどもの食欲に合わせ食事量の調整をして提供しています。また、園オリジナルキャラクターを活用し、食について関心を深めています。栄養士は、こどもから給食で美味しかったと声があったメニューを「リクエスト献立」としてを取り入れ、楽しく食べる工夫をおこなっています。保護者へは、クッキング活動の様子を栄養士が給食日より発信し、家庭における豊かな食事環境につながるよう取り組んでいます。	
【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<コメント>	
栄養士は、給食の献立を作成し保育者と連携して、こどもの発達状況に合わせた食材の大きさを変えるなどの工夫をおこなっています。喫食状況はアプリで管理・把握しています。園では、1か月の献立を2週間毎のサイクルにしており、残食をもとに調理方法を工夫しています。献立は、旬の素材を使い地域の文化や外国食を取り入れて作成をしています。衛生管理は、マニュアルをもとにおこなっています。	

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<コメント>	
職員は、保護者との連携を図るため、職員間での報告・連絡・相談の徹底を会議で話し合い共有に努めています。また、保護者との情報交換は、連絡帳アプリや送迎時のコミュニケーションなどでおこない、必要に応じて記録をとっています。園は、保育内容の理解を得るために、年2回の保護者懇談会や園だより、行事の案内などで園の取り組みを発信しています。また、保育参観・保護者懇談会・個人面談などでこどもの成長の共有を図り、保護者との連携に取り組んでいます。	

A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント> 保護者とは、登降園時に一日のこどもの様子や家庭での様子を共有し、信頼関係を築くように努めています。日常的に声掛け、コミュニケーションを図っており、保護者の相談や子育てに対する悩みを連絡帳などで把握し、保護者の都合に合わせた相談体制を整えています。相談の内容によっては、保育士、栄養士、看護師とそれぞれの専門職をいかして対応をおこなっています。また、必要に応じて行政、療育センターと連携し、子育ての支援に取り組んでいます。	
【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<コメント> 虐待等権利侵害の兆候を見逃がさないように、登園時や着替え時の視診、こどもの様子の変化に注意し気になることがあれば、昼礼や職員会議で共有し、対応を協議しています。保護者の家庭状況、情緒に合わせて面談をおこない、虐待予防に努めています。職員は、人権擁護の研修、虐待防止マニュアルの読み合わせや虐待防止に関する理解を深め早期発見に努めています。また、こどもが虐待などの恐れがある場合は、行政や児童相談所と連携を図る体制を整えています。	

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
A-3-(1)-① 【A20】 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<コメント> 保育士は、年度末に本部の自己評価のアンケートに答え、園長との面談で保育実践の振り返りや、次年度の目標設定を立てています。園では、自己評価の集計結果を基に、園の強みや改善するところなどを捉え、園内研修の内容に反映させています。また、研修で学んだ事を、報告書として報告し、職員会議やクラス会議などで共有を図り、保育の質の向上に向け取り組んでいます。	